

治験実施優良者表彰がおこなわれました



本院では、新規医薬品開発の促進に貢献するため、治験センターが設置されています。現在、センター長の伊藤貞嘉教授、副センター長の八重樫伸生教授、張替秀郎教授、副センター長兼事務局長の眞野成康教授のもと、専任CRC(看護師、薬剤師、臨床検査技師)13名で治験業務を推進しております。特定機能病院である本院では、多様な難治性疾患の診療を行っており、受託する治験の中には極めて難易度の高いものも増えていることから、契約1件あたりの症例数が少なくなる傾向にあります。こうした中でも、平成21年度の治験契約件数は94件、契約症例数は308症例、実施率は80.2%となっており、特に実施率はここ2年間、前年度を上回る実績を挙げております。

治験センターでは、治験の推進に顕著に貢献した医師に対し、治験実施優良者表彰を行っており、今回で9回目の表彰となります。選考の基準は、(1)契約1件あたりの契約症例数が8症例以上で、実施率が80%以上の治験グループ、(2)契約件数が4件以上で、契約症例数が20症例以上かつ実施率が80%以上の診療科となっており、対象となった各グループの中で主体的に活躍し

た医師(責任医師、分担医師、協力医師)1名が授賞者として選考されます。平成21年度は以下の4名の医師が受賞されました。表彰式は平成22年9月16日(木)の科長会議に先立って執り行われ、里見病院長より表彰状、並びに副賞(研究費として一人50万円)が手渡されました。

今年度より治験経費は出来高払い制へと移行しております。これまでとは異なり、症例登録により初めて研究費が納入されることとなります。研究費を有意義に使用するためには迅速な症例登録が必要であり、治験のスピード向上が期待されます。

治験業務の拡大と質の向上を目指して、治験センター一丸となって努力する所存でございますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(治験センター副センター長・事務局長 眞野成康)

平成21年度治験実施優良者

- 血液・免疫科 准教授 石澤賢一 ●神経内科 准教授 武田 篤
- 消化器内科 准教授 上野義之 ●循環器内科 講師 福本義弘



武田篤(前列左端)、石澤賢一(左から2番目)、福本義弘(右端)、上野義之(欠席のため上部に掲載)